

シルバーおくたま

会報 第107号 令和7年12月5日発行

公益社団法人
奥多摩町シルバー
人材センター東京都西多摩郡
奥多摩町氷川 954-11
電話 (0428) 83-2815
FAX (0428) 83-3108
ホームページアドレス
<http://www.okutama-sjc.or.jp/>

第40回奥多摩ふれあいまつり

奥多摩ふれあいまつりが、10月25日(土)、26日(日)に奥多摩総合運動公園で開催されました。

一日目は雨天で、二日目は曇りから日差しもあり町民皆様など、多くの方が来場されました。

センターでは、会員皆様が生産された野菜類や手作り作品などの販売を行うとともに、センターが行なっている会員の様々な事業内容について写真を展示し、会員募集の活動を行いました。

なお、農産物などの売上総額は、213,350円となりました。
ご協力ありがとうございました。

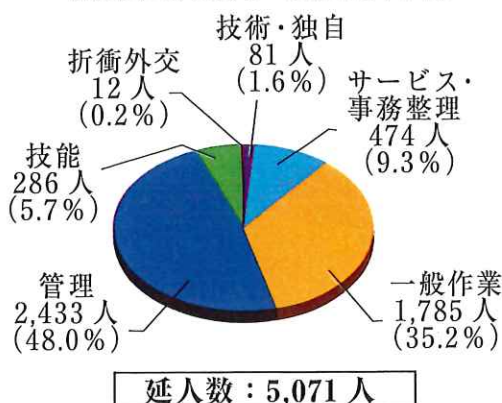


職群別就業実績

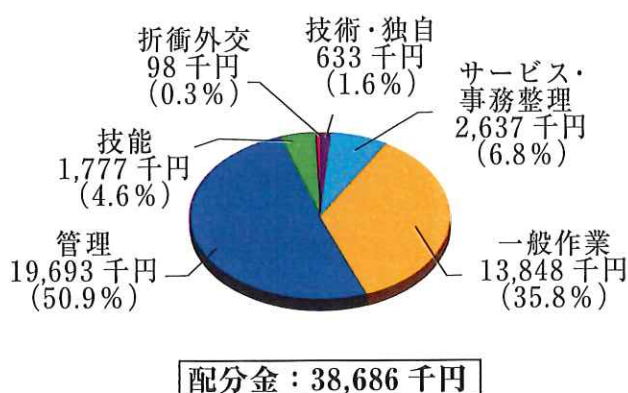
令和7年度上半期(4月から9月)の就業実績は、前年度と比較して、件数で7件(1・6%)の減、延人数で200人(3・8%)の減、配分金収入で481千円(1・2%)の減となりました。

配分金が増の主な要因は、公共施設業務全般において、施設管理や除草作業等によるもので、減の

就業延人数から見た比較



配分金から見た比較



主な要因は、技能・管理・サービス群等の業務によるもので、全体的には横ばい傾向の状況となっております。

昨年度に引き続き、今年は特に暑さによる植木の剪定作業等の時間短縮なども考慮し、熱中症予防対策を講じながら、会員の安全安心を第一とし、屋内外作業等に努めてまいりました。

安全就業標語募集

(公財)東京しごと財団では、安全就業強化月間を中心に安全就業の普及・啓発活動の一環として、会員自らが安全就業について考えることで、より一層の事故防止を図るため「安全就業標語」の募集を行っています。

※対象は全会員です。会員皆様の応募をお待ちしています。

○応募標語テーマ

「転倒予防と健康管理」
「奥多摩の実情に合せて設定したもの」

○応募締切

令和7年12月26日(金)
問合せは事務局まで



当センターの事故状況

○令和6年度

- ・傷害事故 0件
- ・賠償責任事故 2件

○令和7年度(11月1日現在)

- ・傷害事故 0件
- ・賠償責任事故 1件

刈払(草刈)機による飛び石事故が多くなっています。就業前に現場確認、危険予知、安全対策を十分に行いましょう。

11月1日現在の会員数

	男	女	合計
144名	113名	31名	144名
7月以降の入会者	3名	3名	6名
退会者	3名	0名	3名



会員親睦そば打ち体験

会員親睦そば打ち体験を今年度は二回計画し、第一回目を10月3日に、山のふるさと村クラフトセンターで開催いたしました。

当日は、13名が参加し、(一財)

おくたま地域振興財団の講師の指導のもとに、そば打ち体験を行いました。また、会員相互の交流や親睦ができました。

ご協力ありがとうございました。



会員大募集

知識と経験を生かして社会に役立ちたい、健康維持のために働きたい、お友達を作りたいなどお考えでしたらシルバー人材センターに入会しませんか。

町内にお住まいの概ね60歳以上の健康で働く意欲のある方でしたら、どなたでも入会できます。詳しくは、シルバー人材センター事務局まで ☎(83)2815



配分金の振込目

令和8年1月以降の配分金(業務委託料等)の振込日は次のとおりです。事前に配分金(業務委託料等)明細書をお届けしますので、ご確認ください。

令和8年1月16日(金)

2月16日(月)

3月16日(月)

4月15日(水)

5月18日(月)

6月15日(月)

7月15日(水)

8月17日(月)

9月15日(火)

10月15日(木)

11月16日(月)

12月15日(火)



東京シルバー人材センター 創設50周年記念フェス開催

令和7年10月23日(木)に東京ドームシティ・プリズムホールにおいて、東京シルバー人材センター創設50周年記念フェス(イベント)が開催されました。

この記念式典では、主催者であります公益社団法人東京しごと財団理事長中澤基行氏より、シルバー人材センターは、今から50年前、元東京大学総長大河内一男先生が提唱された理念のもとに、全国で初めて東京都江戸川区に作られた組織です。高齢者の新たな働き方として、「雇用によらず住み慣れた地域において共働・共助の精神で自主・自律的に働く」というシルバー人材センターの仕組みは、「高齢化社会」とも相まって都内のみならず全国的にも発展してまいりました。この働き方は、会員に生きがいや健康・長寿をもたらすとともに地域社会への貢献につながっており、今やシルバー人材センターは地域になくてはならない存在になっております。「人生100

年時代」を迎え、シルバー人材センターの使命は更に重要になるものと考えております。50周年を機に、今後は「人生・しごと1000年時代」の到来をも踏まえ、次の50年も地域に根差し、期待されるシルバー人材センターを目指してまいりますとのご挨拶がありました。

都内のシルバー人材センターの設置数は、事業発足から10年間で56箇所と急速に拡大し、現在では都内62区市町村のうち、58箇所に設置されております。令和6年度末の会員数は、80,820人となっております。

このイベントは、創設50周年を祝うとともに各センターの特色ある取組み等の紹介を通じ、魅力を発信するとともに、更なる会員拡大及び就業先の開拓につなげることを目的として開催されたものです。当センターでは、わらじストラップなどを出展いたしました。



編集後記

当センターでは、昨年11月に「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律(フリーランス新法)」の施行により就業条件の明示等がシルバー人材センターに課せられ、併せて厚生労働省の方針より、新契約の見直しなどが示されたことから、今年度は見直しに係る検討やデジタル化を通じての会員皆様にお知らせなどを行ってまいりました。更に、東京シルバー人材センター50周年記念のイベントが開催されました。また、町では、町制施行70周年の記念事業が行われるなど、特に第40回ふれあいまつりでは、会員皆様の協力により野菜や山菜等の販売も盛況に行われました。

来年は会員皆様にとって、平穏で良い年となりますよう、お祈りいたします。

広報委員長 須崎洋司
副委員長 荻田陽子
原島隆一
堀口修二